

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校	校長名	青木 暁 乃
------	---	-----	------------------	-----	--------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共に育てる 自立と輝き

－生徒の能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する－

働くことへの夢と喜びを見出し、意欲を育て、実現に向かって前向きに進むことができる人を目指したキャリア教育を推進する。また、高等学校や地域と連携・協働しながら共生社会の実現を進めると共に、誰もが互いに尊重し合い、互いの命を大切にし、安全に安心して過ごすことができる学校を目指す。

教職員にとって、健康で、安全に、仕事にやりがいをもてる、働きやすい学校を目指す。

「共に」とは、学校、保護者、地域の人たちと共に、さらに生徒同士、そして生徒が自分自身を育て成長するという意味をもつ。「自立」とは、生徒一人一人が、できることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がることと捉える。「輝き」とは、自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる力を高めることと捉える。

(2) 目標具現化の柱

- ア 命を守る教育により、生徒が安全に安心して学習できる学校 (安 全)
- イ 生徒の能力を最大限に伸ばし、個に適した支援及び指導ができる学校 (専 門)
- ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携を深め、共生社会の実現を目指す学校 (連 携)
- エ 教職員のチーム意識を大切にし、効率よく迅速に業務を遂行できる学校 (チー ム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア 安 全	【防災・防犯・安全】 自ら命を守る意識と行動ができる生徒の育成	・防災訓練 (年3回)・防犯訓練 (年2回) の実施	・「災害や犯罪から自ら命を守ることができる生徒を育てている」と答える教員 80%	生徒指導課
		・応急手当や心肺蘇生法など緊急時対応の職員研修	・「緊急時における対応力が向上している」と答える教員 80%	保健体育課
		・自分を守る実技授業の実施	・「自分を守る授業を行うことができている」と答える教員 80%	
		・防災学習や安全講話等の実施	・「けがの防ぎ方や自分で判断して行動する力がついた」と答える生徒 80%	各学年
	【道徳教育・人権教育】 道徳教育の充実及び人権を意識した指導	・道徳教育の意義や在り方についての教員研修	・「道徳の授業を年2回行っている」と答える教員 80%	教務課
		・学年で授業事前、実践、事後を行い検証する		
		・人権研修や教員向け人権チェックの実施 (年2回)	・「人権意識が向上している」と答える教職員 85%	生徒指導課
	・生徒の信頼を築くための個別面談などの実施	・「生徒に寄添い、話を聞くことができている」と答える教員 80%	各学年	
		・「信頼して話ができて、安心して学校に通うことができる」と答える生徒 100%		
	【生徒指導】 学校や社会のルールを守って、安全に安心して生活することができる生徒の育成	・生徒に対して、社会のルールや校内規約に関する授業の実施 ・SNSに関する授業の実施 ・登下校指導の実施	・「校内や社会のルールを意識して安全に安心して生活する生徒を育てている」と答える教員 80%	生徒指導課

様式第1号

イ 専 門	【授業改善】 「働く人を育てる」ことに着目し、生徒が、主体的・対話的で深い学びができる授業づくりの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・単元構想シートを活用した、授業検討の実施 ・講師招聘の授業研究会の実施（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒が主体的・対話的で深い学びをする授業の話し合いができている」と答える教員 80% 	研修・自立活動課
	【専門性】 キャリア教育の視点に基づいた、知的障害の特性に応じた指導・支援の向上と継承	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の学校生活や職場実習の目的等を意識した実習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的に学校生活や実習に取り組む生徒を育てている」と答える教員 90% 	進路指導課
		<ul style="list-style-type: none"> ・障害に配慮した手立てや教材を見出す教科部会の実施（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害の特性に応じた指導・支援ができている」と答える教員 80% 	教務課
	【ICT】 ICTを活用し、生徒が主体的に取り組む授業づくりの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・校内にある情報機器、使い方の紹介・説明 ・学習環境の整備 ・ICT学習会の情報の伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICT機器を授業で使っている」と答える教員 80% 	教務課
ウ 連 携	【図書】 読書指導の充実と自ら読書に親しむ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・図書に親しむ環境づくり ・図書を活用した授業づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の図書に親しむ機会が増えている」と答える教員 80% ・「図書を利用した活動を行うことができている」と答える教員 80% 	学校図書推進委員会
	【共生・共育】 沼津城北高等学校との交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や避難訓練、松濤祭など沼津城北高校との共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒が主体的に交流できる活動の機会を持つことができている」と答える教員 80% 	生徒指導課
		<ul style="list-style-type: none"> ・沼津城北高等学校と一緒にを行う行事や部活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「沼津城北高等学校と一緒にを行う行事や部活動等を計画している」と答える教員 80% ・「共に活動し、気持ちを共有することができた」と答える生徒 80% 	各学年
【センター的機能・理解啓発】 地域や学区の中学校、関係機関等との連携を図り、特別支援教育の理解啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校との情報交換とニーズに応じた丁寧な対応 ・ケースに応じた面談、関係機関とのケース会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「支援や指導について、地域の学校や関係機関と連携が取れている」と答える教員 80% 	特別支援教育コーディネーター、部主事	
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設等との交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「近隣施設等との交流活動を計画している」と答える教員 80% ・「目的を理解し、主体的に準備をしたり関わったりできた」と答える生徒 100% 	各学年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新（月2回以上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛鷹分校の教育活動や様子が発信できている」と答える教員 80% 	教務課	
エ チ ーム	【マネジメント力の育成】 計画的、効率的な業務遂行力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・提案資料に目を通し意見を持って臨めるように期日までに資料を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「会議の効率化を意識できている」と答える教員 80% 	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> ・目標の共有化と学校全体を見る、知る、考える体制作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・「従来の業務を見直し、精選、合理化を図れている」と答える教員 80% 	部主事
		<ul style="list-style-type: none"> ・主任会を核とした情報共有と相談・協力体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・「支援方法の知識が深まり、指導力が向上している」と答える教員 80% 	主任会
	【本校との連携】 学校運営に関わる事務手続き、予算の計画的な執行等、本校事務との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・本校事務職員の職員会議への参加（年6回） ・本校事務職員が愛鷹分校へ来校しての会合（年6回） ・分校・本校連絡票を活用して、本校事務職員との連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・「本校事務職員と連携して、事務手続きや予算執行ができている」と答える職員 85% 	管理職